



2016年5月3日(祝・火)の憲法記念日に、「5.3憲法集会」が、東京臨海広域防災公園で行われました。去年は横浜の臨港パークで開かれましたが、今年はアイル Isleと言われる東京湾の埋め立て地・有明で行われました。横浜からは少し遠いので、十分用意をして、老人二人組は出かけました。

港南台駅で、東海道線での人身事故による電車の遅延が知らされ、気持ちが悪くなりました。鉄道での人身事故は連日のように起こり、命にかかわる事故が想像され、やり切れない思いです。

会場への乗り換え駅・大井町には次々と参加者が殺到し、超満員のりんかい線でした。会場のある駅に着くと、もうそこから集会モードになって、大勢の人が列をなして集まっていました。主催者の報告によれば、5万人とのことでした。何とか、開会時間に間に合って、細い通路をどんどん前に進み、正面ステージに近い所に隙間を見つけ、そこに座って、スピーチを聞くことができました。

プログラムはゲストの挨拶、政党挨拶、リレートークと、約20人の短いスピーチで構成されています。この集会の目的は、①憲法を守る、②集団的自衛権だと主張する戦争法案を廃案にする、③立憲主義を無視する安倍政権の退陣、この3つを主張するものでした。その中で印象に残った方々のスピーチの一端を記したいとおもいます。

- |            |   |
|------------|---|
| 高校生平和大使    | 核廃絶を求める署名を130万筆集め、平和を訴えています。(こういう若者たちがいることを初めて知りました。すごいパワーだと嬉しくなります。)                                     |
| 菅原文子氏      | 私たちは個人としてここに集まっている。それぞれが奥行きのある、大小さまざまな石のよう。違いを持って生きている個人である。それを土台にしたい。                                    |
| むのたけじ氏     | 戦争は人を殺さなければ自分が死ぬというものだ。あの大战を無条件降伏という無念な結果にしてしまった人間だが、残したものが、9条だ。戦争を絶滅させよう。(101歳で車椅子で登壇でしたが、声はハリがあり、元気一杯。) |
| 浅倉むつ子氏     | 研究者として、学問は無力かと思わせられるが、水俣病から、水俣学、東日本大震災から、希望学と、苦難から研究が生まれてきている。  |
| 障害者連絡協議会代表 | 戦争は福祉を切り捨てる。障害者は無駄飯食いとされる。自民党改憲案によれば障害者を家族負担にさせ、福祉を後退させ、障害者の自立を危うくする。                                     |
| 朝鮮高校生徒     | ヘイトスピーチに傷つけられ、脅かされ、また、政府からも学校教育への助成金も打ち切られるという差別に遭っている現実を訴えました。   |
| 国際ボランティア会  | アフガニスタンで、反政府軍が襲ってきたが、日本人ボランティアと聞いて、軍隊を送っていない国だからと、何もされずに帰っていき、安全だった。                                      |
| 日本消費者連盟    | TPPは命より経済を優先する。アメリカの農産物を売るための仕組みである。  |
| しんぐるまざーず   | 働くシングルマザーの年収は二親家庭の3分の1。平均181万円の貧困状態。  |

民進党の新党首になった岡田氏に続き、野党が共闘し、参議院選挙で安倍政権に対抗して戦う決意を述べ、協力を求めて訴えました。その他に、沖縄、福島から、教育界や弁護士の現場から、現状報告がなされました。シールズの学生による元気いっぱいのシュプレヒコールもありました。命と人権を保障する憲法を大切に守りたい気持ちで会場は一つになりました。こんなに沢山の人のの中に、偶然、妹たちにバツリ。また、10人位の友人と出会って、喜び会いながら、パレードにも参加しました。